

日本気象学会昭和64年度春季大会の告示

1. 期 日 昭和64年 5月24日(水)~26日(金)
2. 会 場 気象庁
東京都千代田区大手町1丁目 3-4
(電話 03-212-8341)

3. 研究発表

- 1) 発表は口頭またはポスターによって行う。
- 2) 口頭発表には2種類があり、これらの選択は原則として発表者の希望による(751ページ「口頭発表の方法」参照)。なおスペシャル・セッション(752ページ参照)も口頭発表に準ずる。
- 3) ポスター発表は「ポスター・セッションの方法」による。

4. 講演申し込み方法

- 1) 発表方法にかかわらず、本号挿入の申し込み用紙

に記入し、予稿集原稿を添えて申し込む。詳細は750ページの「講演予稿集原稿の書き方」をごらん下さい。

- 2) あて先：〒305 茨城県つくば市長峰 1-1

気象研究所 予報研究部内
講演企画委員会(藤部文昭)

- 3) 期限：64年3月9日(木)必着、ただしスペシャル・セッションについては64年3月1日(水)必着

5. シンポジウム

テーマは「オゾン層の科学——現状と展望——」

ポスター・セッションの方法

1. 概要紹介に引き続きポスターの前で説明を行う。ポスター発表の申込みが多い場合は、2回以上に分けて行う。
2. ポスター・セッションは30分~1時間でこの間は口頭発表は休憩とする。
3. 概要紹介は直前の口頭発表のセッション(3会場のいずれか一つを講演企画委員会で指定する)で講演者自身が行う。時間は2分間でOHPまたはスライドを1枚だけ用いることができる。
4. ポスターは事務局の指定した場所に掲示する。なお、掲示板に余裕があれば大会期間3日間を通じて

掲示することもできる。

5. ポスターの掲示および撤去は講演者自身が行う。なお掲示に必要な紙またはテープは事務局で用意する。
6. 掲示板は90cm(縦)×180cm(横)である。ただし、ポスターは大きな紙一枚に書く必要はない。例えば、B4サイズの紙に分けて描き、当日掲示板に並べてもよい。
7. ポスターには講演題目と講演者名を明記する。文字や図は2~3m離れても、はっきり分かるように書く。

講演企画委員会からのお知らせ—研究会活動への援助について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な援助をします。具体的には、大会プログラム等への掲示、講師を呼ぶ場合の報酬・交通費などの資金、会場・機器の手配、時間の調整などが考えられます。支援を希望する方は、下記の事項を明記の上、講演企画委員会へ申し込

んで下さい。

申込先・申込期限：一般講演と同じ

- 記入事項
1. 会の名称とテーマ
 2. 代表者の連絡先
 3. 希望日時・開催場所
 4. 予想参加人数
 5. 希望する支援内容

講演企画委員会からのお知らせ—口頭発表に新方式導入

気象学会大会における発表数は年々増える傾向にあります。その数は20年前には約140件、10年前には約200件だったものが、最近では約250件に達し、従って1件当たりの割り当て時間も短くなって来ざるを得ない状況にあります。

このため会員の間には、特に充実した研究発表の質疑討論の時間の不足を不満とする声があります。その一方で、休憩時間(=交流時間)などの充実を求める意見も少なくありません。しかし大会日数や会場数を今以上に増やすことは、種々の制約のため、抜本的対策抜きでは難しいのが現実です。

従来の口頭発表の時間についての問題点としては、発表内容の性質の違い、あるいは発表者の希望の如何が必ずしも配慮されずにきたことが挙げられます。また1人の発表者が類似したテーマの発表を2件続けて行うことにも批判があります。

講演企画委員会では、改善のための1つの試みとして、2種類の口頭発表を設けることにし、この方式を来たる春季大会で試行します。ご留意のうえ、ご協力をお願い致します。

口頭発表の方法

1. 種別

次の2種類のどちらかを発表者が選択して申し込む。

・第1種講演<講演5分、質疑2分>：新しい研究成果の要点・概要等を発表する。

・第2種講演<講演10分、質疑5分>：よくまとまった段階の研究成果を発表し討論する。予稿は明確に構成記述され、必ず1章を設けて主張の明らかなまとめまたは結論が明記されたものでなければならない。講演企画委員会は予稿をチェックし、第2希望への振り

替えまたは第1種に準じた持ち時間への制限をすることがある。これらの場合、委員会は申込者に連絡する。なお持ち時間は、申込総数によっては上記よりも短くなることもあり得る。

2. 申し込み方法

これまで通り、申込用紙に予稿1枚を添えて申し込む(予稿を2枚以上にする要望が以前からありますが、委員会で検討中です)。

3. 申込件数の制限

1人(連名の場合、同一講演者)で申し込める口頭発表は1件に限る。ただし、独立したテーマの研究に限り、第1種講演1件の追加は認める。

講演企画委員会としては、講演の大半は研究目的・結論等を簡明に述べるよう工夫することによって第1種で充分行い得ると考えています。また、第2種については、講演内容が論文・報文の形で投稿予定(または投稿中)あるいはそれと同等の段階までよくまとまっているものであることを想定しています。これらの点について、会員各位のご理解ある対応をお願い致します。

発表件数の増加傾向が今後も続けば、将来は第1種講演とポスターとが大会の一般発表の主流にならざるを得ないと予想しております。

なお上記の試行は、長期的傾向を見越し、「今のまま放置しておくわけにはいかない」という認識から作られた一方策であり、これが最善であるかどうかは今後の経過を見なければなりません。この試行について、その他大会発表全般についてご意見やご希望がありましたら、随時当委員会までお寄せ下さい。